
明るいな——彼と向かい合って、それから

菜宮 雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明るいね——彼と向かい合って、それから

【Nコード】

N4131I

【作者名】

菜宮 雪

【あらすじ】

あたしの部屋で彼と二人きり。彼はあたしを見つめ、顎に手をかけ顔を近づけた。

プツッ、と音がして、あたしの部屋の蛍光灯が突然切れた。

「あっ」

ソファに並んで座っていた彼と、天井を見上げる。丸い蛍光灯。そう言えば、この前から、円の一部が黒ずんでいたのを忘れていた。そろそろ切れる頃かとわかっていても、まだ使えると思い、ついそのままにして。

暗くなつた室内は、壁際で音を出しているテレビの明かりだけになった。

「蛍光灯の替え、ある？」

「たぶん」

こういう時は、彼の背が高くて助かった。取り出してきた替えを渡すと、彼は手早く交換してくれた。

「スイッチ、入れてみて」

「うん」

部屋に再び明るさが戻る。なんだか前よりも明るい。

「うわ、明るいね」

白い光が室内を満たす。想像以上の明るさに、まぶしさすら感じる。切れた蛍光灯は、かなり黒くなっていたから、やっぱりさっさと取り替えるべきだったのかもしれない。

再びソファに彼と並んで座り、なんとなくクイズ番組を見る。ふと気がつくと、彼はテレビを見ずに、あたしの顔ばかりじっと見ていた。

「なに？」

二人掛けソファ。すぐ横に彼。手を延ばせば届く。延ばさなくても、ちよつと体を傾ければ、肩が触れ合えるほど近くて。

心臓が速くなり始める。まだキスすらしたことがない、付き合い始めのあたしたち。部屋に彼が上がってきたのも、今回でまだ二回

目。

そんなに見ないで。もしかして、こういう状況って、かなりやばいんじゃない……

二人きりのあたしの部屋。

今から、彼があたしを押し倒して、ああなって、こうなったら……どうしよう。

彼は、黙ったままあたしの顎に手をかけた。

ああっ、これって。これって！

あたしの血液が急速に高温になっていく。

きゃーもうだめえ。あたし、このまま流されそう。

彼が顔を近づけてくる。

目を閉じなきゃ。こういう時って、目を閉じて待てばいいんだよね？ キ……キスするんだよね？ 今からあたしたち、初キス……

「……」

目を閉じて彼の唇を待つ。

「……」

あれ？

想像していた感触がいつまでも来ないので、薄く目を開く。すぐそこに彼の顔がある。彼は、軽く微笑んでいた。

やだっ、恥ずかしい。

彼はあたしの顔に見とれている。顔が熱くなり、耳たぶまで赤く染まってしまっていることは隠せない。彼は気が付いているに決まっている。気絶しそうなほど、あたしが緊張していること。

彼は、あたしの顎に手をかけたまま、ははっ、と笑った。

「おまえさ」

「ん？」

「明るい光の下でよく見るとさ……」

あたしは、うつとりと彼の顔を見つめ返した。かわいいじゃん……って言うてくれるのかな。

「俺たちって、今まで昼間から会ったことがなかったからさ、気がつかなかったけど」

彼は、あふれてくる笑いをかみ殺すような声で言った。

「おまえの眉毛って、よく見るとつながってるんだな」

即刻、彼を部屋から叩き出し、あたしの短い恋は終わった。

(了)

（後書き）

お読みいただき、ありがとうございました。

お題「あかるいね」は、三里アキラさまのブログ「ノンタイトル」の中の、作家さんに10個のお題よりお借りしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4131i/>

明るいな——彼と向かい合って、それから

2010年10月17日18時09分発行